

古代史ファンや加藤九祚先生の支援者・支持者に参加を呼びかける！

こんなツアーは二度とない 「鳴り物入り」で
中央アジアと日本・心のシルクロードを訪ねるキャラバン

88歳加藤九祚先生・4人のミュージシャンと行く米寿の挑戦頭彰ツアー
—68歳からスタートした北バクトリア発掘20年を集大成—

2010年11月24日(水)～12月1日(水) 8日間 ¥298,000

主催：日本・ウズベキスタン国際シンポジウム&フェスティバル実行委員会
(実行委員長 加藤九祚・国立民族学博物館名誉教授)



12年間の発掘で全容が見えたカラテパ遺跡



加藤九祚先生

＜ツアーの特色＞

(1) 加藤九祚先生がカラテパ仏教遺跡12年間の発掘成果を全てお見せし、語ります。発掘品を一挙公開。一緒に発掘しているウズベク側考古学者ピダエフ氏とともに88歳渾身の記念講演「北バクトリアと大乘仏教誕生の背景」を現地開催。発掘の拠点となっている加藤の家などで小パーティも。

(2) 加藤九祚先生の米寿を祝い、大乘仏教と共にアムダリヤをわたりアジアを席卷した楽人を偲ぶ音楽キャラバン「アムダリヤを渡った響き—アイルタム幻想」を実施。アジアのメロディ楽器の本流「笛」のチャンピオンら同行する4人のミュージシャンが仏教遺跡で演奏します。①第2回ADD三味線コンテスト・グランプリ受賞(弘前)の木村俊介(篠笛・津軽三味線)②都山流尺八全国コンクール金賞・文部大臣賞受賞の橋本岳人山③仏陀の誕生地ネパールの竹笛パンスリの天才パンチャラマ④数百通りのリズムを駆使するタブラのサラバンラマ。ウズベク側の歌舞、演奏も計画されている。

(3) ウズベキスタン共和国在日大使館、ウズベキスタン文化芸術フォーラム基金共催、日本国外務省後援、薬師寺後援によって、ウズベキスタン共和国の首都タシケントで開催される『バクトリア仏教遺跡発掘20年カラテパ発掘12年日本・ウズベキスタン国際シンポジウム&フェスティバル』に参加。



木村俊介



橋本岳人山



パンチャラマ



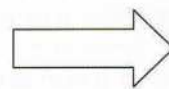
サラバンラマ



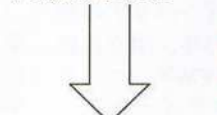
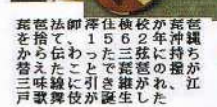
アイルタム幻想



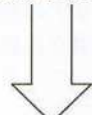
アムダリヤ(オクサス)川右岸(ウズベキスタン・テルメズ市)で発見された「楽人像/琵琶を弾く女性」



シルクロードは音楽
回廊—時空を超えて
現代につながるアム
ダリヤの響き—



アムダリヤを渡った楽人(像) がいなければ木村俊介はいない



アジアの音楽史の最後の姿



木村 俊介
津軽三味線

「アイルタム幻想—アムダリヤを渡った響き」

- 木村俊介 「眩夜行路」「津軽じょんから節」
- 橋本岳人山 「月明かり」「祈り」
- パンチャラマ 「キャラバン」「光の旅」
- サラバンラマ 「アジアンビート」